

<避難口/通路誘導灯(両用型)(電池内蔵型)>  
<クリーンフーズシリーズ(防湿・防噴流型)>

保管用

品番	JF(H) 11347	JF(H) 21347
	(C級)	(B級・BL形)

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。※上記( )内は加工品番です。(以降、加工品番の記載を省略します。)

### 施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

### 安全に関するご注意

#### 警告

- 施工は、取扱説明書にしたがい確実に。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 器具に衝撃を与えたり、改造したりしない。落下・感電・火災の原因となります。
- 壁埋込専用。指定以外の取付はしない。落下・感電・火災の原因となります。
- 断熱材、防音材をかぶせて使用しない。火災の原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧±6%)・周波数の電源で使用する。使用電源に不備があると、感電・火災の原因となります。
- 蓄電池を短絡・分解などしない。また、火や水に投入しない。感電・火災・破裂・やけどの原因となります。
- 蓄電池は確実に取付ける。非常時に点灯しません。

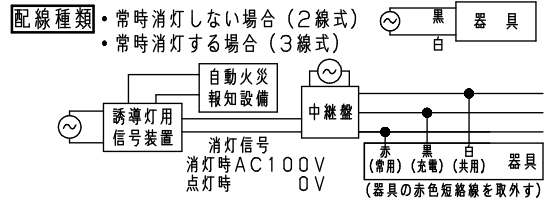


#### 注意

- 直射日光の当たる場所、風の強い場所、振動の強い場所、屋外では使用しないでください。過熱による変色・変形や落下・感電・火災の原因となります。
- サウナなど高温になる場所や、腐食性ガスが発生する場所(温泉)には、使用しないでください。過熱による火災・感電の原因となります。
- 殺菌灯と併用する場合は殺菌線が表示板・パネルに当たらない様に設置ください。殺菌線が当たる場合、表示板・パネルの劣化、落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、5~35℃以外では使用しないでください。蓄電池の劣化や火災、不点及び短寿命の原因となります。
- 壁とボックス間は防水シール材などで埋めて密閉してください。防水が不完全な場合、感電・火災の原因となります。

#### 施工上のご注意

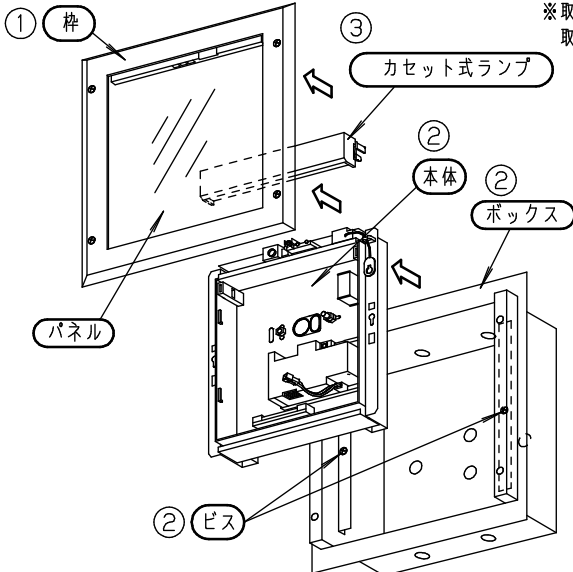
- この器具の電源は誘導灯専用回路にしてください。
- この器具は常時連続点灯して使用してください。常時消灯して使用される場合は、事前に所轄消防署の了解を得てください。また、自動火災報知設備との連動が必要のため、誘導灯用信号装置などを用いて消灯してください。
- 電源を通電せずに、蓄電池を接続したまま放置しないでください。蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。



※取扱説明書中の図は、一部簡略・抽象化しています。

#### 各部のなまえと取付けた

器具の取付・取外しは手袋など保護具を使用する。けがのおそれがあります。  
この器具は中空壁用です。コンクリート壁の場合は別途取付ボックスが必要です。



#### 1 取付前の確認

\* JF21347の例で説明しております。

- 器具質量(4.9kg: JF21347の場合)に十分に耐える様、ボルト取付部の強度を確保する。取付ボルトは、W3/8又はM10を使用する。不備があると器具落下の原因となります。

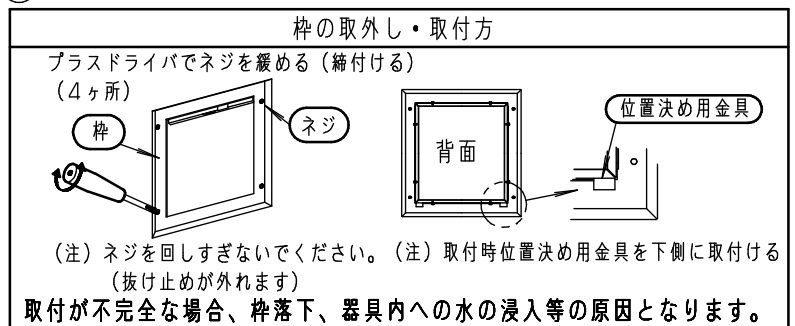
適合取付ボックス	
JF21347の場合	JF11347の場合
JK21719K	JK11719K

※取付ボックスを使用時は取付ボックスの取扱説明書を参照してください。

適合表示板			
JF21347の場合		JF11347の場合	
FK20000	FK20005	FK10000	FK10005
FK20006	FK20007	FK10016	FK10017
FK20008	FK20016	FK10018	
FK20017	FK20018		

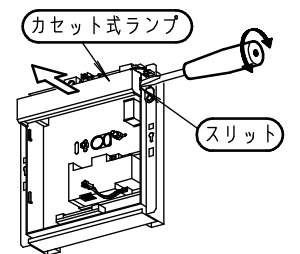
#### 2 取付準備

##### ① 枠を取外す



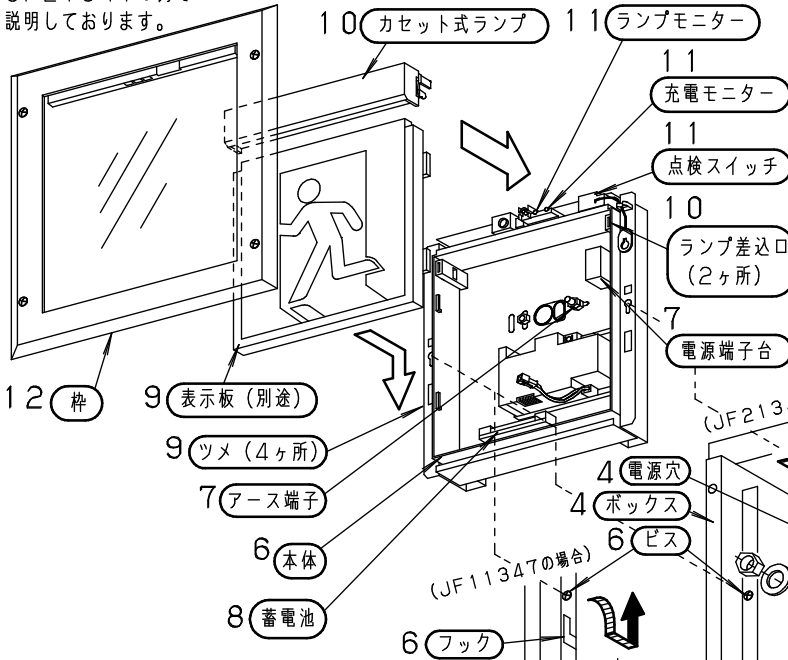
##### ② 本体を取外す

- ピスを緩めて本体部をボックスから取外す
- カセット式ランプを外す。カセット式ランプを工具(マイナスドライバ等)で片方ずつ外す
- スリットに工具を押し当ててひねりながら外す
- (注) 必ず左右とも工具にて外してください。無理に引き抜くと破損の恐れがあります。



# 各部のなまえと取付けかた (続き)

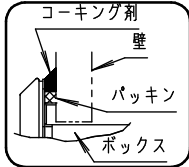
JF21347の例で説明しております。



## 5 ボックス、壁間の密閉

- ボックス、壁間をコーキング等で確実に密閉する。(ボックスの額縁よりはみ出さない様コーキングを行なってください。)

密閉が不完全な場合、器具内への水の浸入等の原因となります。

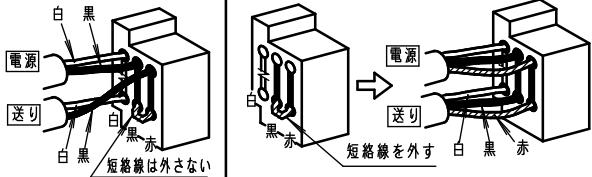
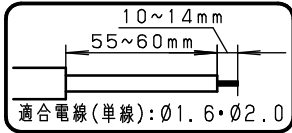


## 6 本体の取付

- ① 本体の電源穴から電源線、アース線を引き込む。
- ② ボックスのビスを緩め本体のダルマ穴を引っ掛ける。(JF11347は、本体角穴をフックにかけてダルマ穴を引っ掛ける。)
- ③ 本体を押し上げダボに引っ掛けて、ビスを締め付ける。

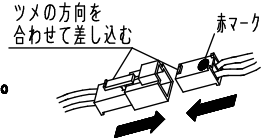
## 7 電源線、アース線の接続

- ① 電源線は右図のように剥き、同梱のチューブを被せる。
  - ② 電源線、アース線を確実に接続する。
  - ③ D種(第3種)接地工事が必要。④ 送り総容量は20Aです。
- 接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、感電・火災の原因となります。常時消灯しない場合の接続 常時消灯する場合の接続



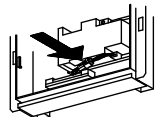
## 8 蓄電池コネクタの接続

コネクタを確実に接続する。方向を間違えると蓄電池が故障します。接続が不完全な場合、火災・非常時不点の原因となります。



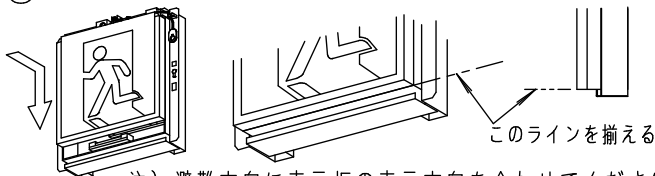
## 9 蓄電池コネクタの処理

コネクタを確実に器具内に押し込む



## 10 表示板の取付

- ① 表示板のツメが本体のツメ(4ヶ所)の上側にくるように合わせる。
- ② 表示板を下側にスライドさせて、本体の下と揃える。



注) 避難方向に表示板の表示方向を合わせてください。

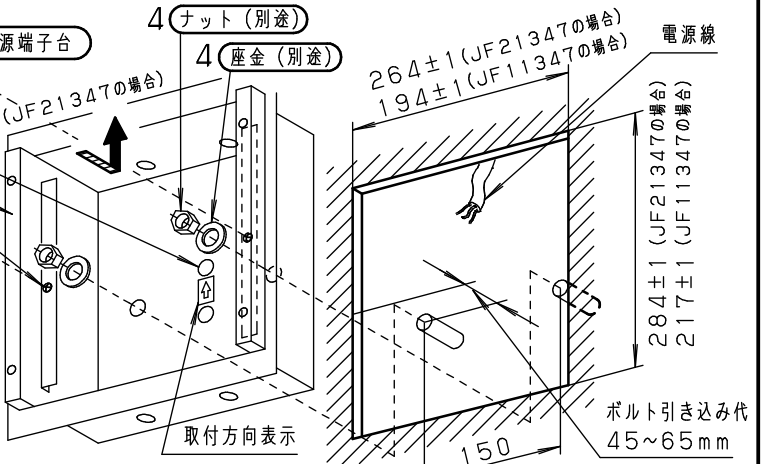
取付に不備があると表示板落下の原因となります。

## 3 埋込穴の開孔

埋込穴、取付ボルトを図のように用意しておく。

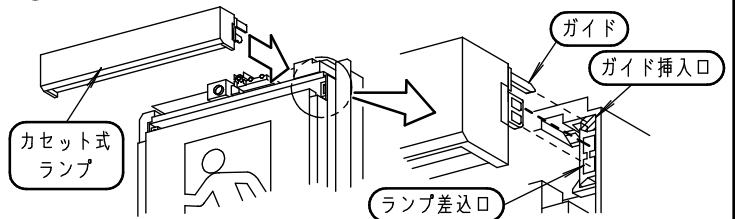
## 4 ボックスの取付

- ① ボックスの取付穴及び使用する電源穴のK、Oを取る。
  - ② 電源穴に付属のプッシングを取付ける。
  - ③ ボックスの電源穴から電源線、アース線を引き込む。
  - ④ 取付方向表示に合わせて、パッキンが壁面に密着するようナット・座金を用いてボックスを取付ボルトに確実に取付ける。
- 取付に不備があると器具落下の原因となります。



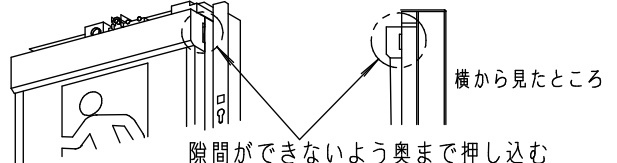
## 11 カセット式ランプの取付

- ① カセット式ランプを本体のランプ差込口にはめ込む



- (注1) カセット式ランプ端子部を直接持たないこと  
(注2) ガイドをガイド挿入口(上図ハッチ部)に入れながらカセット式ランプをはめ込む。

- ② カセット式ランプをカチッと音がする奥の位置まで押し込む



隙間ができないよう奥まで押し込む

取付に不備があるとカセット式ランプの落下の原因となります。

## 12 点灯確認 ※枠取付前に行ってください。

- ① 電源通電状態でランプおよび各モニターランプの状態を確認する。

### 正常状態

充電モニター(緑)は点灯  
ランプモニターは消灯

自己点検スイッチ

ランプモニター

充電モニター

引きヒモ止め

点検スイッチ

- ② 電源通電状態で、引きヒモ止めから点検スイッチを外して引っ張り、非常点灯を確認する。  
(点検中、充電モニター(緑)は消灯)  
(注) 点検スイッチは引きヒモ止めに戻してください。

正常に動作しない場合は「故障かな?と思ったときは」を参照してください。

## 13 枠の取付

(詳しい取付方法は、「各部のなまえと取付けかた」(2. 取付準備)を参照ください。)

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

警告

- 器具を改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがした場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。
- 蓄電池を短絡・分解などしない。また、火や水に投入しない。感電・火災・破裂やけどの原因となります。
- 蓄電池は確実に取付ける。非常時に点灯しません。

注意

- カセット式ランプは絶対に分解しないでください。感電の原因となります。
- 密閉構造を有しているため、周囲の環境状況の変化によりカバー内面に若干の水滴（結露）が発生する場合があります。器具品質的には問題ありませんが水滴が発生したら、カバーを外して水滴を拭き取ってください。
- 防噴流レベルはIPグレードの第2特性数字「5」レベルです。機械洗浄機などを使用した非常に強力な水の噴射は避けてください。器具内への水の浸入の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。（※1）法令に基づいて定期的に点検を実施してください。点検せずに長時間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。
- 「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。（チェックシート番号：CLX2021HA）

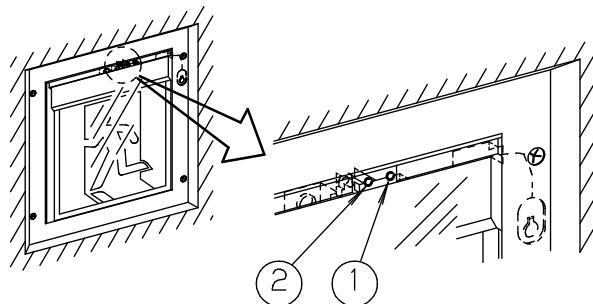
※1 照明器具は、使用条件、使用環境で異なりますが、8～10年が取り替え時期の目安です。但し、蓄電池は、4～6年です。

使用上のご注意

- アルカリ系洗剤は使用しないでください。強度低下による破損の原因となります。
- 長時間器具を使用しないときは、蓄電池は外してください。蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。
- ランプ交換後はリセットスイッチを2秒以上長押ししてください。ランプ寿命誤診断の原因となります。

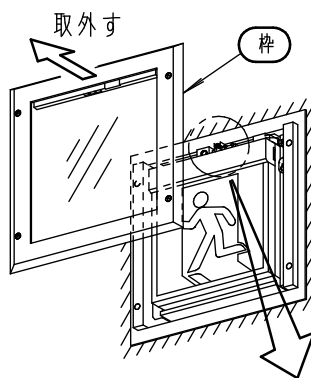
① 充電モニター（緑）

蓄電池の充電がなされているか確認できます。		緑色点灯	正常です
		点灯しない	蓄電池が充電されていません。非常点灯になっていないか、または、蓄電池コネクタが外れていないかを確認してください。
		緑色点滅	蓄電池の交換時期の目安です。蓄電池容量の低下を緑点滅でお知らせします。
リモコンの確認スイッチを押した時		1秒間点滅（4回）	点検可能（24時間以上充電されている）



② ランプモニター（赤）

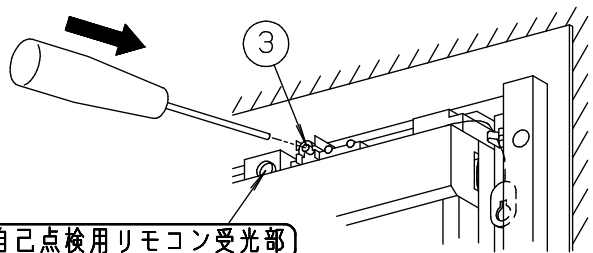
ランプの交換時期や異常などをお知らせするものです。		点灯しない	正常です
		赤色点灯	ランプまたはランプの接続に異常が発生しています。
		赤色点滅	ランプユニット交換時期の目安です。ランプの点灯時間をカウントし、60000時間後に赤色点滅でお知らせします。
リモコンの確認スイッチを押した時		1秒間点滅（4回）	点検不可（充電時間不足）



（注）ランプモニターが点滅しなくてもランプの明るさ低下または変色等の場合ランプを交換してください。

③ 自己点検スイッチ

- ※枠取付時には操作できません。枠を外して操作してください。
- ・蓄電池容量の点検が行なえます。判定には最大20分、かかります。
- ・先の細い（φ3以下）物で2秒以上押しと点検を開始します。（充電モニタが消灯します。検査終了後は自動的に復帰します。）
- ・自己点検スイッチの動作には、24時間以上充電が必要となります。（24時間以内に、3秒以上の非常点灯があった場合は動作しません。）



# 使用上のご注意（続き）

## 自己点検誘導灯用リモコンについて

適合リモコン品番：FSK90910K（別売）

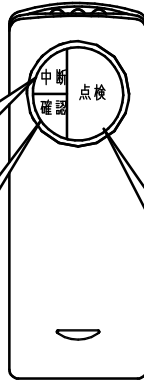
### スイッチ各部の名称と働き

#### 中断スイッチ

点検動作を中断し、常用点灯に復帰させるときに使用します。

#### 確認スイッチ

誘導灯器具が24時間の充電が完了しているかを確認するときに使用します。



#### チャンネル

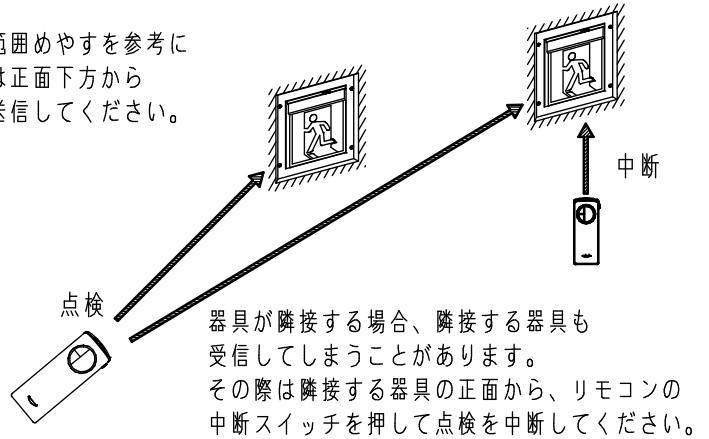
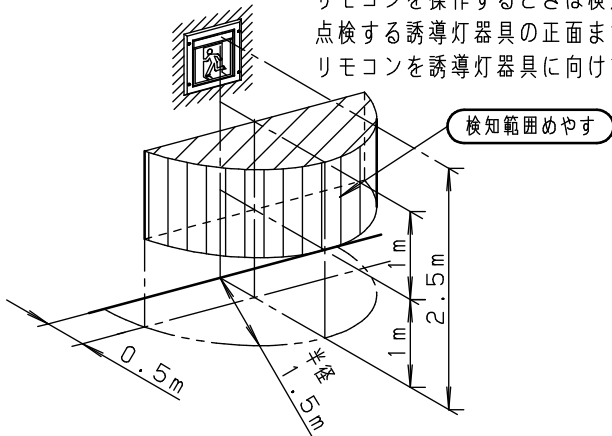
使用時、チャンネルは「1」にセットして下さい。（チャンネル「2」は非常灯用です。）

#### 点検スイッチ

定格時間の非常点灯点検を開始します。（器具本体の自己点検スイッチを押したときも同様です。）

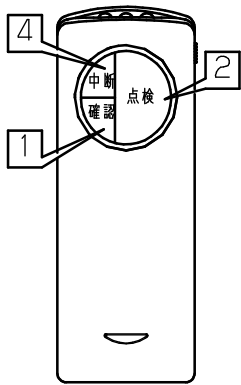
## リモコン操作エリア

リモコンを操作するときは検知範囲めやすを参考に点検する誘導灯器具の正面または正面下方からリモコンを誘導灯器具に向けて送信してください。



## リモコンによる点検方法

- チャンネルを「1」にセットして下さい。
- 充電モニター（緑）が点灯、ランプモニター（赤）が消灯していることを確認して下さい。



- リモコンの確認スイッチを押して下さい。  
【器具本体のモニターを確認してください】  
・充電モニター（緑）が1秒間点滅（4回）⇒点検準備が来ています。2に進んで下さい。  
・ランプモニター（赤）が1秒間点滅（4回）⇒点検準備が来ていません。24時間以上充電して下さい。
- リモコンの点検スイッチを押して下さい。  
【器具本体のモニターを確認してください】  
・充電モニター（緑）が消灯（非常点灯に切り換ります。）⇒3に進んで下さい。
- 蓄電池容量の点検が行えます。判定には最大20分かかります。  
【器具本体のモニターを確認してください】  
・充電モニター（緑）が点灯 ⇒ 正常です。  
・充電モニター（緑）が点滅 ⇒ 蓄電池の交換時期です。
- 途中で点検を中断する場合、リモコンの中断スイッチを押して下さい。  
【器具本体のモニターを確認してください】  
・充電モニター（緑）が点灯（通常状態に戻ります。）

## リモコンスイッチと器具状態の対応表

※ — の場合は充電・ランプモニターの状態に変化はありません。

	器具の状態		
	充電中 (充電時間24時間未満)	充電完了状態 (充電時間24時間以上)	点検中
点検スイッチ	— (充電モニター（緑）が約0.5秒消灯し点灯に戻ります)	点検開始 (充電モニター（緑）点灯⇒消灯)	— (充電モニター（緑）消灯したまま)
中断スイッチ	— (充電モニター（緑）点灯したまま)	— (充電モニター（緑）点灯したまま)	点検中断 (充電モニター（緑）消灯⇒点灯)
確認スイッチ	ランプモニター（赤） 1秒間点滅（4回）	充電モニター（緑） 1秒間点滅（4回）	— (充電モニター（緑）消灯したまま)

# お手入れ・部品交換



蓄電池・ランプ交換時は、器具に取付けられている蓄電池・ランプと同じパナソニック製の蓄電池・ランプにお取り替えください。故障・ランプ破損の原因となります。

- 器具の清掃について
  - 水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤、アルコールでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。
  - 枠の内面を清掃される場合は、取外して行ってください。(詳しい取外し・取付方法は、「ランプの交換方法」を参照ください。)
- 表示板の交換について
  - 長期使用により、表示効果が低下(変色・退色)した場合は表示板を交換してください。

交換部品	品番	カセット式ランプ	蓄電池
	JF21347	FK91220 (B級用LEDランプユニット)	FK731
	JF11347	FK91110 (C級用LEDランプユニット)	(2.4V700mAh)

## ランプの交換方法

ランプモニターが赤色点滅するとランプの交換時期です。(通電6000時間後)  
(注)ランプモニターが点滅しなくても、ランプの明るさ低下または変色等の場合ランプを交換してください。

**1** 枠を外す。  
プラスドライバーでネジを緩める。(4ヶ所)

(注)ネジを回しすぎないでください。(抜け止めが外れます)  
(注)ランプ交換は電源通電状態で行ってください。

**3** 表示板を外す。  
表示板を上側にスライドさせて取り外す。

**6** 新しいカセット式ランプを取付ける。

(詳しい取付方法は、「各部のなまえと取付けかた」(10.ランプの取付)を参照ください。)

**2** カセット式ランプを外す。  
(ランプモニター(赤)点灯)  
カセット式ランプを工具(マイナスドライバー等)で片方ずつ外す。

(注)必ず左右とも工具にて外してください。無理に引き抜くと破損の恐れがあります。  
(注)工具は強く押し当てないでください。ランプの破損の恐れがあります。

**4** リセットスイッチを2秒以上押す。

リセットスイッチを押すことでランプの点灯時間のカウントがリセットされます。

**7** 点検スイッチを引く。  
(ランプモニター(赤)消灯)  
(注)点検スイッチを引かないと点灯しません。  
(詳しい取付方法は、「各部のなまえと取付けかた」(11.点灯確認)を参照ください。)

**5** 表示板を取付ける。  
表示板を下側にスライドさせて取付ける。

(詳しい取付方法は、「各部のなまえと取付けかた」(9.表示板の取付)を参照ください。)

**8** 枠を取付ける。  
プラスドライバーでネジを締付ける(4ヶ所)  
(注)取付時位置決め用金具を下側に取付ける  
(詳しい取付方法は、「各部のなまえと取付けかた」(2.取付準備の②)を参照ください。)

(JF11347の場合)

**①** 本体両側のビスを緩め、ビス上側のダボの引っ掛けを外して器具を下げる。  
**②** 本体上部を手前に引き出して、スリットに工具を押し当ててひねりながら外す。

(JF11347の場合)

**①** 本体をボックス内に押し込む。  
**②** 本体を押し上げてダボに引っ掛けてビスを締め付ける。

## 表示板の交換方法

1 枠を外す。	5 カセット式ランプを取付ける。
2 カセット式ランプを外す。 (ランプモニター(赤)点灯)	6 点検スイッチを引く。 (ランプモニター(赤)消灯) (注)点検スイッチを引かないと点灯しません。
3 表示板を外す。	7 枠を取付ける。
4 新しい表示板を取付ける。	

## 蓄電池の交換方法

24時間以上充電しても20分間非常点灯しない場合は蓄電池を交換してください。

**1** 枠を外す。

**2** カセット式ランプを外す。  
(ランプモニター(赤)点灯)

**3** 表示板を外す。

**4** 蓄電池コネクタを外す。  
(充電モニター(緑)消灯)

(注)電線を引っ張らないでください。

**5** 蓄電池を交換する。  
(注)電池はラベルが上を向くように取り付けてください。逆に取り付けると、電池が破損する恐れがあります。

**6** 蓄電池コネクタを接続する。(充電モニター(緑)点灯)  
ツメの方向を合わせて差し込む  
方向を間違えると蓄電池が故障します。接続が不完全な場合、火災・非常時不点の原因となります。

**7** 蓄電池コネクタを器具内に押し込む。

**8** 表示板を取付ける。

**9** カセット式ランプを取付ける。

**10** 点検スイッチを引く。  
(ランプモニター(赤)消灯)  
(注)点検スイッチを引かないと点灯しません。

**11** 枠を取付ける。  
(注)詳しい取外し・取付方法は、「ランプの交換方法」(各部のなまえと取付けかた)を参照ください。

## 保証について

- 保証について・・・この商品の保証期間は1年間です。ランプ・電池等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 保証書について・・・保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 補修用性能部品の保有期間・・・弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年保有しています。補修用性能部品は、同等機能を有する代替品を含みます。

## 器具定格・接続図

(共通仕様)

電源電圧：AC100V

周波数：50/60Hz

その他：通電60000時間後にランプモニタ点滅

消費電力	C級	B級BL形
	1.9W	2.6W

接続図についてはブロックの銘板、定格の詳細については器具の銘板を参照ください。

- ◆定期点検 3ヵ月に1回は、破損・変形などの外観の点検をおすすめします。  
6ヵ月に1回は、外観点検と機能点検を併せて行ってください。  
(点検については、誘導灯は消防法令、非常用照明器具は建築基準法令に定められていますので必ず実施ください。)

◆設置年月日 年 月 日 ◆取付場所 ◆器具No.

点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者
	外観	機能			外観	機能			外観	機能	

## 故障かな?と思ったときは

- 表にしたがって調べていただき、それでも異常がある場合は、すぐに電源を切り、工事に修理を依頼してください。

現象	考えられる原因	処置
ランプが点灯しない	出力停止モードになっている。	点検スイッチを押す。
	カセット式ランプが外れている。	カセット式ランプを確実に接続して点検スイッチを押す。
	信号装置の手動スイッチが消灯側になっている。	点灯側にする。
自己点検スイッチが動作しない	2秒以上押していない。	2秒以上押す。
	24時間以上充電していない。	24時間以上充電する。
	24時間以内に3秒以上の非常点灯、停電があった。	
24時間以内に蓄電池をはずした。		
リモコンの点検スイッチが動作しない	24時間以上充電していない。	24時間以上充電する。
	24時間以内に3秒以上の非常点灯、停電があった。	
	24時間以内に蓄電池をはずした。	
表示面が暗い	点検スイッチが引っ掛かって非常点灯状態になっている。	点検スイッチの引っ掛かりを直す。
	パネルの内側がくもっている。	枠を外して内面を拭き取る。
充電モニターが点灯しない	蓄電池が外れている。	蓄電池コネクタを確実に接続する。
	点検スイッチが引っ掛かって非常点灯状態になっている。	点検スイッチの引っ掛かりを直す。
ランプモニターが点滅している	ランプの寿命である。	ランプを交換し、交換時にリセットスイッチを2秒以上押す。
	ランプ交換時、リセットスイッチを2秒以上押していない。	ランプ、表示板を一度取り外し、リセットスイッチを2秒以上押す。
ランプモニターが点灯している	カセット式ランプが外れている。	カセット式ランプを確実に接続して点検スイッチを押す。
	ランプが破損している。	ランプを交換して、リセットスイッチを2秒以上押す。
非常点灯しない 短時間しか点灯しない (一般型：20分未満)	蓄電池が外れている。	蓄電池を確実に接続する。
	蓄電池の充電不足である。	24時間以上充電する。
	蓄電池の寿命である。	蓄電池を交換する。
定格時間の非常点灯の後突然消灯する (一般型：20分以上)	蓄電池の早期劣化を防止するため、特定電圧まで下がると消灯します。 正常な動作です。	



Ni-MH

この器具は、「ニッケル水素電池」を使用しております。ご使用済みの「ニッケル水素電池」は貴重な資源です。再利用しますので、廃棄しないで電池パックのまま充電式電池リサイクル協力店へお持ちしていただくか、または「一般社団法人JBRC」に依頼してリサイクルしてください。

パナソニック株式会社 ライティング機器ビジネスユニット 〒571-8686 大阪府門真市門真1048

お問い合わせ先 パナソニック 照明と住まいの設備・建材お客様ご相談センター

0120-878-709 (フリーダイヤル) 0120-872-460 (FAX)

N0610-090919